事例No.	1551
公表年度	R3
団体の属性	複数団体
団体名	愛知県瀬戸市・兵庫県芦屋市、長野県・静岡県藤枝市・山口県宇部市

事例区分	DX

タグ	・人材確保・育成 ・専門人材の確保 ・ICT

事例種類	自治体DX推進

事例内容・タイトル

広域連携を活用した人材の育成

出典

自治体DX推進手順書参考事例集

事例：広域連携を活用した人材の育成【愛知県瀬戸市・兵庫県芦屋市、長野県・静岡県藤枝市・山口県宇部市】

Point

➢ 周辺自治体との連携会議等における交流

概要（愛知県瀬戸市等・兵庫県芦屋市等）

○ 近隣市町（瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、みよし市、長久手市、東郷町）において、「７市町オープンデータ推進会議」を設置し、統一フォーマットを定め、大学とも連携して活動している。会議で培われたネットワークを通じ、オープンデータ以外でも情報交換や相互助言を実施。（愛知県瀬戸市等）

○ 連携協定を締結したCode for Japan※をコーディネーターとして、兵庫県、神戸市、豊岡市、加古川市、三田市、宝塚市などと定期的に情報交換をしている。（兵庫県芦屋市等）

※社会課題の解決に資するIT技術の活用を通じて、より良い政府、自治体の実現に取り組む一般社団法人。東京都公式の新型コロナウイルス感染症対策サイトを開発。

【参考情報】 人口：13.0万人（瀬戸市）、9.6万人（芦屋市）
関連URL：http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2017071500023/

Point

➢ 都道府県や市町村間における人事交流

概要（長野県・静岡県藤枝市・山口県宇部市）

○ 地方自治法第252条の17の規定により、県内の市町村が行う事務の電子化を推進するため、情報システムの共同調達を担う長野県市町村自治振興組合の電子自治体推進部門へ県職員２名を派遣。（長野県）

○ 県内の市町同士で人事交流に関する協定書を作成し、それに基づき定期的に人事交流を行っている。令和元年度及び令和３年度には静岡市から職員を受入れ、県内の市町間でのネットワークを構築することで、情報共有を密にしている。（静岡県藤枝市）

○ 市の職員を県のDX推進担当課に派遣。（山口県宇部市）

【参考情報】 人口：208.7万人（長野県）、14.5万人（藤枝市）、16.4万人（宇部市）
関連URL：http://www.union.nagano-map.lg.jp/publics/index/19/

類似の取組を行っている団体：福島県会津若松市（県、13市町村間での連携）、神奈川県大磯町（県から受入れ）、長野県須坂市（県へ派遣）